

▼ロキシーン注 [注]

- 【重要度】 【一般製剤名】 プリジノールメシル酸塩 Pridinol Mesilate 【分類】 中枢・末梢性筋緊張緩解放剤
- 【単位】 ▼2mg/A [1mL]
- 【常用量】 1回 2mg
- 【用法】 1日1回筋注もしくは静注
- 【透析患者への投与方法】 データがないので設定できない (5)
- 【その他の報告】 設定されていない (1)
- 【保存期CKD患者への投与方法】 データがないので設定できない (5)
- 【その他の報告】 腎障害を悪化させるおそれがあるため腎障害患者には慎重投与 (1)
- 【特徴】 中枢および末梢神経に対してアトロピン類似の筋弛緩作用を示し、運動器疾患による有痛性痙攣を緩解する。抗コリン作用があるので注意。
- 【主な副作用・毒性】 眠気、めまい、ふらつき、脱力感、倦怠感、発疹、消化器症状など。
- 【安全性に関する情報】 精神病発生の可能性 (Cichecki Z: Psychiatr Pol 1980 PMID: 7367525) 自動車の運転等の禁止 (1)
- 【F】 資料なし (1)
- 【tmax】 0.55hr (1)
- 【代謝】 資料なし (1)
- 【排泄】 資料なし (1)
- 【t1/2】 0.48hr [イヌ, im] (1)
- 【蛋白結合率】 資料なし (1)
- 【Vd】 資料なし (1)
- 【MW】 391.52
- 【透析性】 資料なし (1)
- 【OW係数】 資料なし (1)
- 【相互作用】 中枢神経抑制剤と併用注意 (1) チオリダジン血中濃度の変化 (Sidorowicz S, et al: Psychiatr Pol 1985 PMID: 3832136)
- 【主な臨床報告】 3週間の投与で筋肉関連の疼痛、圧痛、運動障害に効果を認める (Uberall MA, et al: Curr Med Res Opin 2022 PMID: 35502575)
- 【更新日】 20230513

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。